



水と緑と学びのまち 多摩区

多摩区には多摩川や二ヶ領用水が流れ、
生田緑地をはじめとする多摩丘陵が広がっています。
都市近郊でありながら、水と緑に恵まれた風光明媚なまち。
区内の大学に多くの学生が通うなど、学びのまちとしての一面もあります。
市内最大規模の緑地「生田緑地」は緑の宝庫といわれ、
中には個性豊かな文化施設が点在し、教育・文化の拠点になっています。

【本モデルコース編集】
多摩区観光協会ガイド部会

【歴史写真提供】
稲田郷土史会

2026年(令和8年)1月発行



水



多摩区観光ガイドによる
多摩区の魅力発見！
モデルコース

緑



学び





モデルコースについて

多摩区観光協会ガイド部会に所属する多摩区観光ガイドが
おすすめする6つのコースです。

多摩区の四季折々の自然に癒されたり、古代から現代まで
時代を超えて歴史に触れることもできます。

ぜひこのマップを手に歩いて、多摩区の魅力を見つけませんか？

デジタル版マップはこちらから

各マップのポイントが登録されたデジタル版マップです。
お手持ちのスマートフォンで二次元コードを読み取り、
リンク先で地図の入手方法を見ることができます。

※地図を見るには、地図アプリ「Avenza Maps/アベンザマップス」のダウンロードが必要です。(無料)

アプリのダウンロード
マップの読み込みは
こちらから。📱



本モデルコースガイドの依頼は多摩区観光協会事務局まで

【多摩区観光協会 事務局】

多摩区役所まちづくり推進部地域振興課

TEL 044-935-3132

ガイドツアーの情報は
多摩区観光協会ホームページ
で発信しています。📱



多摩区の魅力発見!モデルコース 全体マップ



多摩区観光ボランティアガイドによる、多摩区の魅力発見! モデルコース①

小沢城跡・多摩自然遊歩道を歩く

多摩丘陵に残されたクヌギやコナラの樹林の中を歩く多摩自然遊歩道、小沢城跡があるなど、豊かな自然の中で土の道を歩きながら、多摩区のルーツに出会えるコースです。

距離: 5.0km
時間: 3.5時間
難易度: 健脚向き



②多摩自然遊歩道

遊歩道に沿う緑地には、クヌギ・コナラを主体とした雑木林の中にシラカシ・マツスギが点在するほか、一部には竹林もあります。また、カブトムシ・クワガタ等の昆虫も多く、他にもウグイス・ホオジロ等の小鳥たちのさえずりを聞いたり、野の花を眺めたりと、四季の変化に富んだ自然を楽しむことができます。

※多摩特別緑地保全地区、小沢城跡特別緑地保全地区では地域の方々による保全管理が行われています。



③農業技術支援センター

農業技術支援センターでは主な事業として農産物の生産に係る技術の向上・農業経営の安定化・支援ボランティアの育成等の支援を行っています。園内では四季折々の花木や果物等が見学できるほか、管理棟3階の休憩室兼展望室からは都心のビル群や東京スカイツリー等が一望できます。

■開園時間 9:30~16:30(9月~3月9:30~16:00)
■休園日 月曜日(祝日の場合翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
■料金 無料



④寿福寺

静かな佇まいをみせる仙谷山寿福寺は、縁起によると推古天皇6年(598年)の開基とされ、永徳2年(1382年)鎌倉建長寺の大安法慶禪師によって開山中興された臨済宗の寺です。御本尊は虚空蔵菩薩立像で、本堂の国一禅坐像と大般若経600巻は川崎市重要歴史記念物に指定されています。また源義経と弁慶が奥州へ逃れる途中、本堂裏の洞窟で大般若経を書写したともいわれています。

※境内一帯の林は、川崎市と緑地協定を結んで保全されています。当寺は準西国稲毛三十三観音霊場札所第4番になっています。



⑤小沢城跡

小沢城は鎌倉幕府の北の守りとして天然の要害を利用して築造された山城で、鎌倉時代初頭は、源頼朝の重臣として活躍した稲毛三郎重成の子、小沢小太郎の居城でした。鎌倉~戦国時代にわたり、分倍河原(ぶばいがわら)の戦いや小沢原の戦い等、いくたびかの合戦の舞台となりました。

今日でも空堀・土塁・物見台・館・井戸の跡と思われる遺構が残っています。※現在、小沢城跡を含めた周辺は、小沢城跡特別緑地保全地区に指定されています。浅間山86mは東京方面がよく見えます。



⑥薬師堂

薬師堂は稲毛三郎重成が建久6年(1195年)に病死した妻を供養するために建立した極楽寺の後身と伝えられています。御本尊の薬師如来は医王仏ともいわれ、特に病気を治すお薬師様として人々の信仰を集めています。

古くから伝わる獅子舞(神奈川県指定無形民俗文化財)は、毎年お薬師様の命日(9/12)に近い日曜日に境内の土俵で行われます。雄獅子・雌獅子・白獅子の3頭の獅子と天狗が笛と唄に合わせて五穀豊穡・疫病退散・天下太平を祈って勇壮な舞を披露する様子を、多くの人々が見物に訪れます。



長沢の里の寺社・石仏めぐり

長沢はかつて武州橋本郡長沢村で、多くの谷戸から良質の水が湧出して稲作が行われ、村中の人が造立した長沢六地藏のうち、四地藏が本コースに点在。桜の美しい春秋苑、長沢の鎮寺諏訪社、準西国稲毛三十三所観音霊場をめぐります。

距離：6.0km
時間：3時間
難易度：ふつう



②春秋苑

昭和33年(1958年)に開苑した日本初の民間公園墓地で、生田丘陵、南生田8丁目全域に広がる20万平方メートルという広大な敷地に1万4千を超える墓所に多くの故人が眠っています。また、著名人の墓所も多数あります。四季折々の草木が植えられ、来訪者に安らぎを与えています。



長沢の六地藏

平瀬川支川沿いに稲毛領長沢村中の人たちが造立したお地藏様の一つですが、作り直されています。六地藏は通常六体が並んで祀られます。武州橋本郡長沢村に刻印があり、盛源寺で開眼されたもの。六地藏というのは、あの世には六道(地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、天上道、人間道)があり、人間は死ぬといずれかに行くとされ、その時人々を導き救うという日本の仏教解釈から生まれたものです。



③諏訪社

長沢の鎮守で、祭神は諏訪大社の祭神である建御名方命(たけみなかたのみこと)と天照大神、大己貴命。創建は不詳だが、社伝によると文治3(1187年)に源頼朝の命により稲毛三郎重成が創建したとされ、本殿に通じる長い参道では明治の頃まで農家の人たちが農耕馬を競争させる馬駆けが行われていました。(鉄砲馬場)拝殿前の木箱に収められている黒石は諏訪の護石と言って参拝者が病氣平癒のお守りとして持ち帰り、祈願成就すると石を倍にして返す慣わしがあり、今も行われています。堂内には、小野小町が舟上がり短冊を海に流す「雨乞いの額」また、大山阿夫利神社から持ち帰った水が奉納されています。



④大山道の道標

桁形の榎戸、大道を経て長沢に入り、王禅寺に出てから南下して長津田で溝口の方からくる大山街道に合流。この道の利用者は、登戸あたりの人たちと世田谷、狛江の人たちでした。毎年、大山の夏山が始まる前夜の7月26日から上長沢の下講中の人たちによって灯籠を立て、まわりに青竹を立ててしめ縄を張り御神酒を上げ、和やかな集まりが行われていました。



⑥清水山盛源寺

曹洞宗の寺。安土桃山時代創建。本尊は釈迦如来像(江戸期の作)。観音堂には聖観音(銅像)が祀られており、準西国稲毛三十三所観音霊場第10番札所です。弁天堂(神体は慈覚大師の作)と寿老堂は武州稲毛七福神めぐりのスポットです。参道入口右手の舟形の庚申塔は寛文10年(1670年)「菅生郷長沢村」の銘があり、三猿等シンプルな初期の特徴を伝えるものです。区内では2番目に古く、市の重要郷土資料に指定されています。



⑦長澤山秋月院

曹洞宗の寺。天正元年(1573年)安土桃山時代創建。本尊は準提観音菩薩像で松平土佐太守公の姫が所持。唯一女性の観音様です。北条家人片山図書が庵を整え、その法名(秋月月心)をとって院号にしました。葉書の本と呼ばれる多羅葉樹の高木があり(昔、この葉の裏に経文を書き写したそうです)、準西国稲毛三十三所観音霊場第11番札所になっています。



旧津久井道(登戸宿場の歴史と今)

水と緑と学びのまち! 多摩区。多摩川と旧津久井道が交わる登戸は江戸時代より物流の拠点であり、多くの商人や職人が行き交う町でした。新しく生まれ変わる町並みから、昭和・江戸時代の面影をたどります。

距離: 6km
時間: 3時間
難易度: ふつう



コース概要	
1 小田急線 向ヶ丘遊園駅	8 登戸稲荷社
2 ニヶ領用水本川 / 小泉橋	9 善立寺
3 大道橋	10 せせらぎ館 / 宿河原塚
4 寿々木饅頭屋・鮎屋	11 リバーサイドポイント(柏屋)
5 多摩区役所	12 登戸の渡し
6 丸山教本庁	13 吉澤石材店
7 光明院(北向地藏・馬頭観音)	14 小田急線 / 南武線 登戸駅

①小田急線「向ヶ丘遊園駅」

昭和2年(1927年)に小田急線が開通。当時の駅名は「稲田登戸駅」でしたが、向ヶ丘遊園の再整備に伴い、昭和30年(1955年)に現在の駅名となりました。北口駅舎は建設当時のままの姿であり、昭和のレトロな雰囲気のある屋根の形が、懐かしい趣を醸し出しています。



昭和20年代後半

②小泉橋 (登戸1号街区公園に旧小泉橋の銘文入の桁石と親柱展示)

小泉橋は江戸時代につくられた「ニヶ領用水」にかかる橋で、豪農小泉利左衛門により天保15年(1844年)に木造の橋から石造りの橋に架け替えられました。さらに明治33年(1900年)、ひ孫の小泉弥左衛門によって古い石材を生かして作られた県内最古級の歴史ある石橋でした。府中街道と交わる榎戸と呼ばれたあたりは、津久井道に繋がる交通の要所として栄えた場所です。



明治34年

榎戸の庚申塔

榎戸の庚申塔は江戸時代に盛んだった富士講の一つ・登戸の丸山講(現在の丸山教)によって明治3年(1870年)に建てられたものです。登山前に庚申塔の前で安全を祈願し、下山後も参拝する富士信仰の大切な場所だったといえます。

庚申塔は中国伝来の庚申信仰に基づいて建てられたもので、外から災いが入りこまないように祈る信仰のよりどころでもありました。榎戸の庚申塔は周辺の改修工事で二度も仮移転しましたが、平成27年(2015年)、もとの小泉橋そばに戻ってきました。



平成元年

⑨善立寺

善立寺は、明治5年(1872年)明治政府より「小学校則」が公布されると、翌6年(1873年)には早くも「登戸学舎」として本堂で小学校教育をスタートさせたという、「小学校教育」発祥の場です。また、江戸時代後期に、ニヶ領用水の水利権争いが40年にわたり続いたとされる記録「用悪水出入一件」(古文書)が今でも残っており、また名主や年寄りと共にこの争いの調停に奔走した玉川屋敷井上弥兵衛が建立した妻の供養塔も境内に建てられています。



平成9年

⑩登戸の渡しと多摩水道橋

昭和28年(1953年)に多摩水道橋が完成するまで、この場所には橋がありませんでした。多摩川に橋がかかるまで、川崎と東京を結んでいたのが渡し船で、下流から六郷・矢口丸子・二子・そして登戸・菅にありました。多摩水道橋は東京都に水を送るためにできた水道との併用橋とされ、この橋の完成によって「登戸の渡し」はその長い歴史に幕を閉じました。



昭和20年代後半

⑫リバーサイドポイント柏屋

登戸は、小杉や溝の口に比べ、居酒屋・煮売りやが多い、さかり場的な賑わいのある宿場でした。その中で柏屋は、旅人を泊めていた登戸宿場時代からの老舗です。明治の末には料理屋を兼ねるようになり、多摩川行楽客に鮎料理等を振る舞い、喜ばれたとされています。現在も「鮎のスッポン煮」を食べた巖谷小波の句碑や飯田九一の鮎の絵が残っています。



昭和2年

生田緑地と歴史めぐり

豊かな自然の中に、日本民家園や岡本太郎美術館などの4つのミュージアムのある生田緑地と、多摩区の歴史を語る上で欠かせない稲毛三郎重成ゆかりの地である枳形山や廣福寺などをめぐる、自然と歴史を満喫するコースです。

距離: 3.0km
時間: 3時間
難易度: ふつう



②生田緑地

生田緑地は、多摩丘陵の一角に位置する川崎市最大の緑の宝庫です。緑地内には、日本民家園、岡本太郎美術館、かわさき宙と緑の科学館、枳形山展望台等があります。自然に富んだ一帯は四季折々の動植物を見ることができ、森林浴、ハイキング、野鳥や地質観察等も楽しめます。

特に奥の池には「ホトケドジョウ」をはじめ、「カワセミ」等、希少な生物が棲んでいます。またメタセコイア(和名:アケボノスギ)の林は迫力に満ち、太古の世界を感じます。



③日本民家園

江戸時代から現存している古民家を、東日本を中心とした地域から移築して展示している野外博物館です。国、県、市の指定文化財が20数軒あります。

■開園時間 9:30~17:00(11月~2月16:30まで)

■休 園 日 月曜日(祝日の場合は開園)

祝日の翌日(土・日の場合は開園)、年末年始

■料 金 一般 550円、高校生・大学生 330円、65歳以上 330円(川崎市在住の方無料)、中学生以下無料



④枳形山

標高84mの枳形山は、山城として築かれ、源頼朝の重臣で北条政子の妹を妻とした、郷土の武将稲毛三郎重成が鎌倉時代に居城としました。多摩川が見渡せ、格好の要害地でした。枳形城跡は現在広場として整備され、遊具や展望台があります。

また、枳形山には長者穴の古墳群もあります。7世紀中期~後期のものと見られる横穴墓群です。



⑤廣福寺・天神社

【廣福寺】真言宗豊山派に属し、平安時代の承和年間(834年~848年)に慈覚大師が創建、鎌倉時代に稲毛三郎重成が中興し、自らの館としていたとも伝えられています。

収蔵庫には県指定重要文化財の地藏菩薩立像と聖観世音菩薩(しょうかんぜおんばさつ)立像が、本堂には稲毛三郎重成一族の位牌と稲毛三郎重成の木像が祀られています。当山は準西国稲毛三十三観音霊場札所第1番になっています。

【天神社】室町時代に稲目某がこの地に住み天神を祀ったのが始まりと云われております。天神社は廣福寺の守護神でこの辺り一円の氏神様です。「江戸名所図絵」には足の速い神として知られる韋駄天様を祀る韋駄天社とも記されています。



⑥小泉橋

小泉橋は江戸時代につくられた「二ヶ領用水」にかかる橋で、豪農小泉利左衛門により天保15年(1844)に木造の橋から石造りの橋に架け替えられました。さらに明治33年(1900)、ひ孫の小泉弥左衛門によって古い石材を生かして作られた県内最古級の歴史ある石橋でした。府中街道と交わる榎戸と呼ばれたあたりは、津久井道に繋がる交通の要所として栄えた場所です。



明治34年

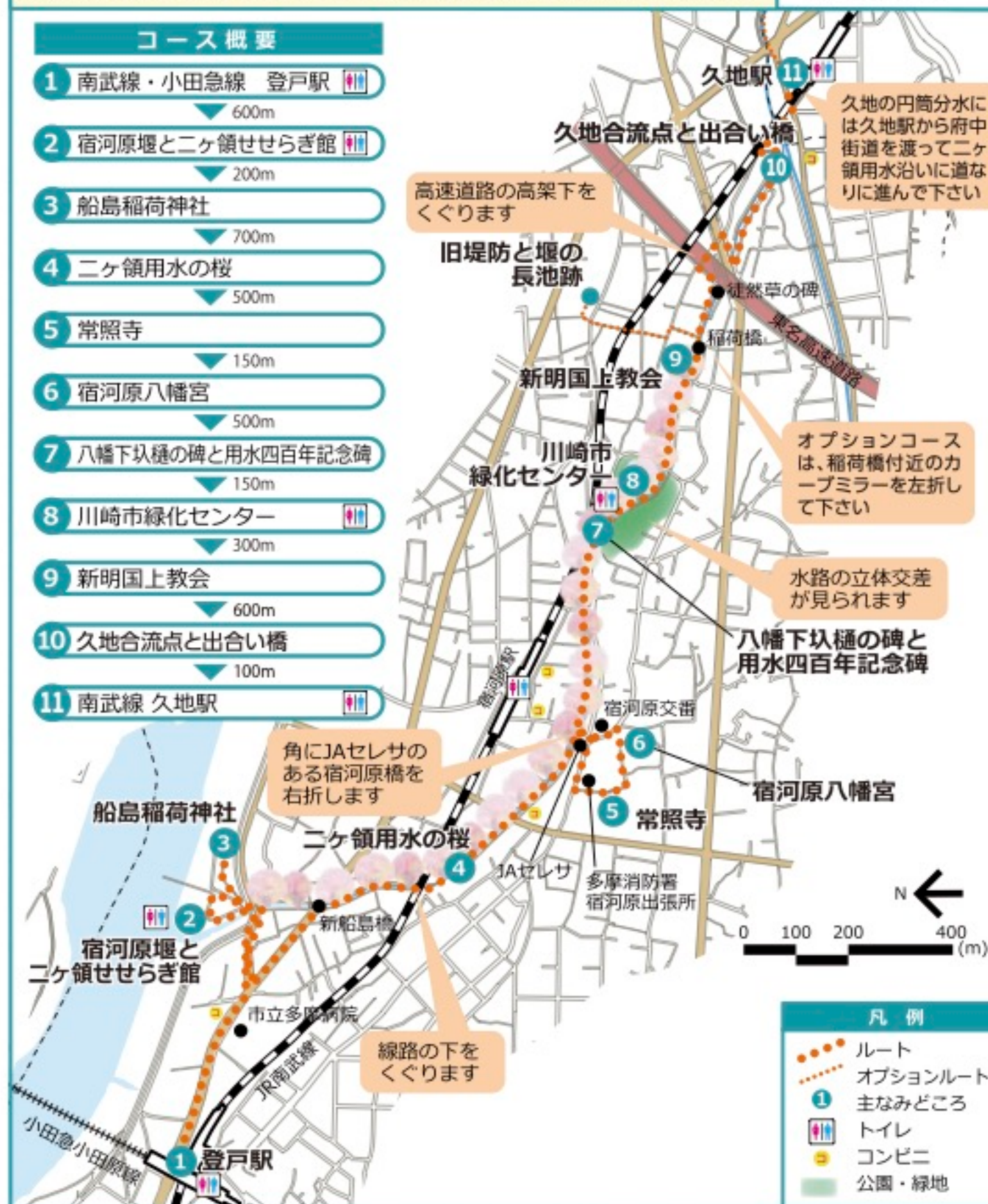
二ヶ領用水(宿河原堀)を歩く

宿河原堀から続く二ヶ領用水沿いに桜並木が続き、沿線には宿河原の養蚕の歴史を伝える常照寺、市の都市緑化植物園である緑化センターなどがあります。春の桜、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季を通じて楽しめるコースです。

距離：3.7km
時間：3時間
難易度：ふつう

コース概要

- 1 南武線・小田急線 登戸駅 600m
- 2 宿河原堀と二ヶ領せせらぎ館 200m
- 3 船島稲荷神社 700m
- 4 二ヶ領用水の桜 500m
- 5 常照寺 150m
- 6 宿河原八幡宮 500m
- 7 八幡下込樋の碑と用水四百年記念碑 150m
- 8 川崎市緑化センター 300m
- 9 新明国上教会 600m
- 10 久地合流点と出合い橋 100m
- 11 南武線 久地駅



- 凡例
- ルート
 - オプションルート
 - ① 主なみどころ
 - トイレ
 - コンビニ
 - 公園・緑地

②③宿河原堀と二ヶ領せせらぎ館・船島稲荷神社

宿河原堀は二ヶ領用水宿河原線へ安定的に多摩川の水を供給するためにつくられました。昭和49年(1974年)の台風時に粕江側の堤防が決壊して大きな被害が出たために、平成11年(1999年)可動堰として完成。この堤の改築事業を機に地域と連携した川づくりの拠点として「二ヶ領せせらぎ館」が設けられ、多摩川の自然や二ヶ領用水の歴史などを紹介しています。

少し下流の河原には治水の守護神としての船島稲荷神社があります。



④二ヶ領用水の桜

二ヶ領用水とは多摩川から中野島の上河原堀と宿河原の宿河原堀から取水している農業灌漑用水で、徳川家康が代官小泉次大夫に命じて14年の歳月をかけて慶長16年(1611年)に完成しました。江戸時代の稲毛領と川崎領に亘る総延長32kmで神奈川県最古の人工用水であり、平成24年度(2012年)土木学会「選奨土木遺産」に認定されています。

桜の名所としても知られ毎年春には桜まつりが開かれ多くの花見客で賑わいます。



⑤⑥常照寺と宿河原八幡宮

常照寺は賢智和尚を開山とし明応6年(1497年)の創立以来、四度の火災に遭い、今の本堂は、明和元年(1764年)に再建されました。川崎市の重要歴史記念物「松寿弁財天図」が所蔵されています。

境内の巨大な宝篋印塔は、土地の名主関山五郎衛門が寄進したもので、「養蚕実験録」を著述し養蚕業を実践した篤農家です。

常照寺の東側には宿河原八幡宮があります。かつては村の高札場があったところで、村の中心地でした。今はすっかり住宅地になっています。



⑦八幡下込樋の碑と用水四百年記念碑

この込樋は、洪水の時に、溢れた余分の水を堀の長池に流し、多摩川に戻すためのものでした。宝暦の絵図では、多摩川は大きく湾曲していてこの近くに、宿河原の取り入れ口があったと考えられています。なお、平成23年(2011年)、この場所に、二ヶ領用水竣工四百年の記念碑が建てられました。



⑧川崎市緑化センター

昭和11年(1936年)神奈川県農業試験場として設置。昭和24年(1949年)に川崎市に移管され、園芸技術普及場として発足しました。昭和45年(1970年)から緑化センターとして市民に開放されています。市民向けに園芸講習会や園芸相談が行われています。



⑩久地合流点と出合い橋

久地駅の手前で、上河原堀と宿河原堀で取り入れられた、二つの二ヶ領用水の流れが合流しています。二ヶ領用水はここから一つの流れとなって、江戸時代から稲毛・川崎領を潤して来ました。近くには出合い橋という人道橋があります。



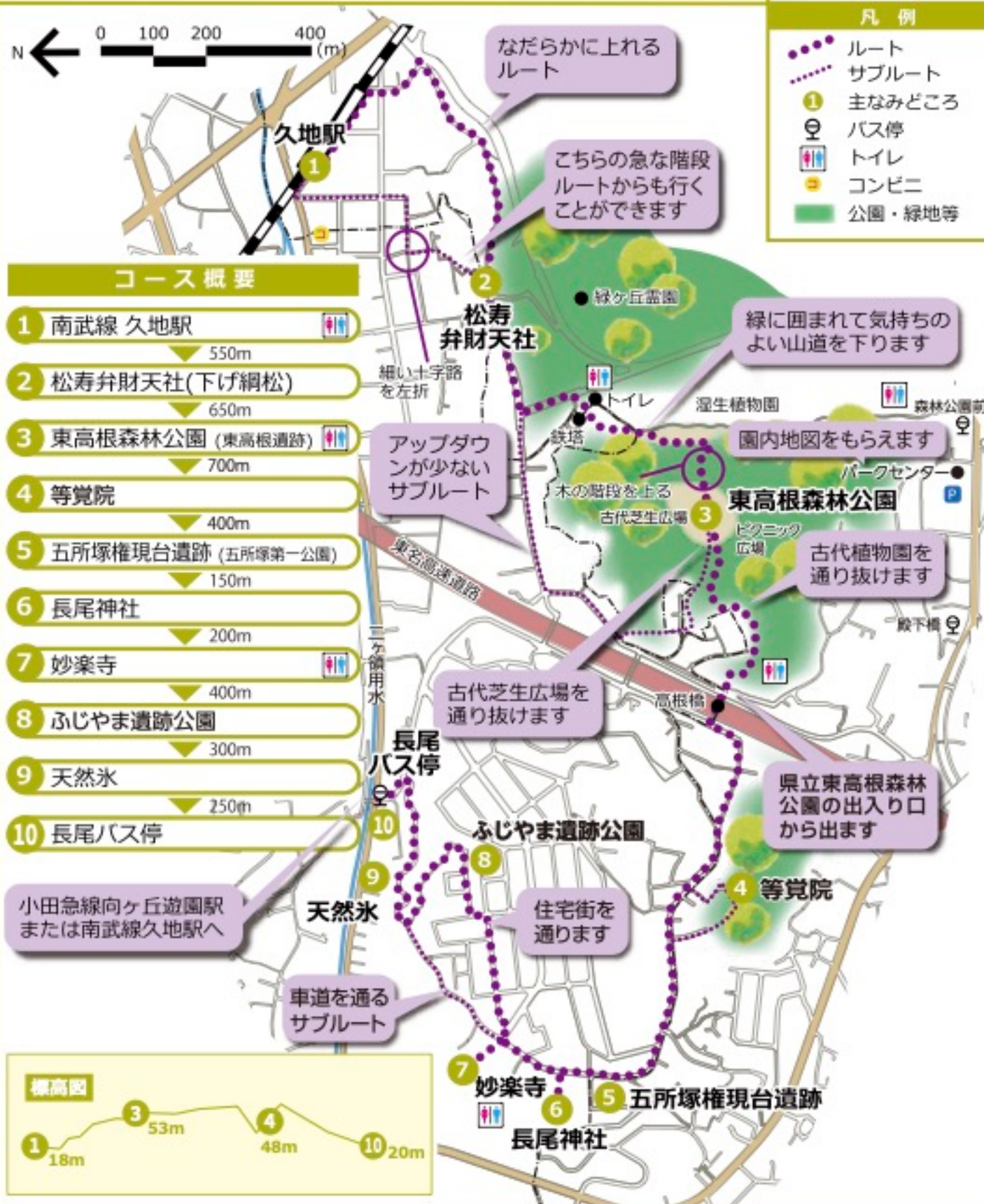
《オプション》 旧堤防と堀の長池跡

宿河原5丁目から東名高速道路までの旧土手が当時の多摩川の堤防です。このような断続した堤防を「霞堤」といいます。多摩川の氾濫で川筋が蛇行し、流路跡が広大な沼池(堀の長池)になりました。この堤は、北原白秋作詞の「多摩川音頭」にも歌われています。

東高根森林公園と長尾の里めぐり

東高根遺跡や天然記念物であるシラカシ林を有する、多摩丘陵の懐かしくも美しい自然を今に伝える東高根森林公園をはじめ、長尾の里の様々な遺跡、アジサイで有名な妙楽寺などをめぐる、歴史・花・自然を楽しめるコースです。

距離: 3.6km
時間: 3時間
難易度: 健脚向き



②松寿井財天社(下げ綱松)

松寿井財天のあるこの場所は、多摩川を見下ろす急峻な台地で、この丘陵は古くは城塞の役目を果たしていました。「下げ綱松」については、稲毛三郎重成や豊臣秀吉の小田原攻めに参戦した上杉の兵人たちが多摩川で洪水に遭い、老松に綱を掛けて助かったという伝承があります。更に天保時代には、古木になった「下げ綱松」に強い霊験が宿るという信仰が集まり、江戸からの参拝者が絶えなかったといわれています。



③東高根森林公園(東高根遺跡)

多摩丘陵東部川崎市のほぼ中央に位置する東高根森林公園は、南北二つの台地と二つの谷戸がある丘陵地形の中にシラカシ林、クヌギ・コナラ林等の樹林地、水田湿生植物園等がある緑豊かで静かな公園です。

面積は約12ha、昭和53年(1978年)開園。

現在の古代芝生広場は弥生時代から古墳時代にかけての「竪穴住居跡を主とする集落跡が埋蔵保存されており、その周囲を天然記念物に指定されているシラカシ林(県指定天然記念物)が取り囲んでいます。※東高根遺跡を県指定史跡に指定(昭和46年12月)



⑥長尾神社

長尾神社の社叢林は、いわゆる鎮守の森と称し、昭和53年(1978年)9月、指定第21号によって、川崎市により保存に指定された貴重な森です。主な林はマツ・シラカシ・イヌシデ。この神社は五所権現社と赤城社が合祀されたもので、五穀豊饒を祈り、氏子2人と稚児2人が的を射る「マトー」と呼ばれる伝統行事で古くから知られています。

地元の人々は親しみをもってこの神社を「権現様」とよんでいます。



⑦妙楽寺

約1,000本のアジサイが咲く妙楽寺の歴史は古く、木造薬師如来両脇侍像(川崎市重要歴史文化財)を修復する際、日光菩薩像の胎内から発見された墨書により、この寺が長尾山威光寺の旧跡であることがわかりました。また鎌倉時代、源氏累代の祈禱所であった威光寺は、鎌倉時代初期に頼朝の弟・全成(幼名 今若丸)をこの寺の住職にしていたことも歴史書「吾妻鏡(あずまかがみ)」から伝えられています。

※年代は室町時代(永正6年/1509年)、昭和43年2月10日市指定、薬師48cm、日光65.5cm、月光65.5cm



⑨天然氷

長尾では、冬に二ヶ領用水の水を利用して天然氷を作っていました。場所は旧向ヶ丘遊園正門そばの山裾からJR久地駅あたりまでの丘陵地帯で、日中も日陰の場所に溜め池が84ヶ所も作られていました。池は長方形で約5.6坪、深さは2尺程度、周囲に厚さ3寸以上の松板かレンガを積み、さらに底には厚さ2寸5分〜3寸以上の砂利かレンガを敷いたとされています。夏の盛りに東京渋谷方面へ出荷し、明治14年(1881年)頃〜大正11年(1922年)まで続いたといわれています。

